

の。もっと鳴らしやすいスピーカーと組合せれば、さらに真に迫った演奏が楽しめそうだ。

もう1枚『フランスへのオマージュ/ディー・ディー・ブリッジウォーター』もなかなかよかった。しなやかな声質も鮮やかに感情を込めてしっかりと歌うボーカルがビビッドに迫ってくるのである。ここはとても魅力的だ。これから真空管アンプを始めたいと考えている入門者やサブシステム用のアンプを探している人などに好適なモデルということができる。

ディー・ディーの歌声には人肌の温もりが加わって、一段と生々しい

次に紹介する新製品AS-6Mは、同社の人気ステレオ・プリメイン・アンプAS-6iをそのままモノブロック仕様に変更したタイプである。何でも、AVユーザーやマルチchオーディオのファンにも真空管アンプの音を

楽しんでもらいたい、という願いを込めて開発したのだそうである。モノラル機は5.1chや5chなどのマルチchシステムの構築に都合がいいのは言うまでもないが、2chのビュアオーディオでもよい面が期待できる。つまり、モノラル特有の優れたチャンネルセパレーションに起因する、明確な音像定位やステレオイメージ豊かなサウンドが望めるというわけだ。

続いて、内容を簡単に説明しておこう。前述のようにAS-6iをそのまま2分割してモノラル仕様に変更したタイプなので基本部分はAS-6iと変わるところはない。KT88 PPによる出力段やフロントパネルのスイッチで3極管接続とUL接続の双方が選べるのもAS-6iと同じだ。ちなみに、KT88はPPで70W~100Wの出力が得られるビーム型のハイパワー管だ。また、3極管接続というのはビーム管や5極管のスクリーングリッドとプレートを結んで同電位とし3極管と同等の特性を得よ



管球式プリメイン・アンプ Houston Mini 2004

●使用真空管:6V6(6P6P)×4(V1, V2, V3, V4), 12AX7(ECC-83)×2, 出力:13W+13W(Class AB 2P-P, ULTRALINEAR), 出力インピーダンス:14Ω~16Ω, 再生周波数特性:20Hz~20kHz -2dB, 全高調波歪率:1%以下(20Hz~20kHz), SN比:90dB以上, トータルゲイン:30dB, ダンピングファクター:3以上, 入力感度:100mV~600mV, 入力インピーダンス:250kΩ, 外形寸法:164×132×210(WHD)mm(アンプ部), 164×60×173(WHD)mm(電源部), 質量:6.5kg

管球式フォノ・イコライザー・アンプ PHONO-ONE

●使用真空管:12AX7(ECC-83 or 4004)×4, 6SN7(6BP or ECC32)×1, 周波数特性:10Hz~80kHz -0.5dB, 全高調波歪率:0.3%以下, SN比:82dB, 入力感度/インピーダンス:3~5mV/47kΩ(Phono MM), 0.3~0.6mV/15Ω~1.2kΩ(Phono MC), 50~150mV/200kΩ(Line IN), 出力:2V(8V P-P max), 出力インピーダンス:2.8kΩ以下, 外形寸法:266×164×278(WHD)mm, 質量:7.8kg

